



発行者 筑西市青少年相談員連絡協議会
 事務局 筑西市教育委員会生涯学習課
 筑西市丙360番地
 電話 0296(22)0182
 E-mail shougak@city.chikusei.lg.jp
 発行日 令和3年3月15日

変化への対応



筑西市青少年相談員
連絡協議会会長
横山 幸造

新型コロナウイルス感染症への対応の難しさは、多くの患者が無症状か軽症のため、危機意識が薄らぎ、無意識のうちに感染を拡大させてしまうという事です。一刻も早い安全なワクチンの開発が望まれます。

青少年の自殺者の増加、そして、虐待の増加。不登校の児童・生徒も増えています。子供たちへの影響は、計り知れない状況です。

私たち青少年相談員は、学校や地域の皆様と共に、子供たちの気持ちを理解し、一日も早い収束を願いながら、時代の変化にもない発生する新たな問題に対応し、青少年に適切な支援を行うために、研修・交流活動や自己研鑽に励み、更なる資質向上を図っています。

子供たちの輝く笑顔のために



筑西市教育委員会
教育長
赤荻 利夫

日頃より、青少年相談員の皆様には、子供たちの健全育成並びに安心・安全な環境づくりのためにご尽力いただき心から感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症は、世界

規模で社会全体を暗い影で覆っています。このコロナ禍において、人との触れ合いや交流が制限され、いじめや虐待、不審者、SNS等の問題が増加傾向にあるとの報道もあります。今まで以上に子供の心に寄り添い、温かな触れ合いを通して力強く教育活動を進めていく必要があります。

青少年への大麻蔓延の懸念



筑西警察署長
藪部 修

青少年相談員の皆様には、平素から青少年の健全育成活動にご尽力いただいていることに深く敬意を表します。

県内の犯罪情勢を見ると、令和元年の刑法犯認知件数は前年と比べますと大幅に減少しておりますが、その一方で大麻取締法違反で検挙された人員は過去最多でした。

検挙人員の大半を10代や20代の若者が占め、同世代の令和2年の検挙人員は更に増加するなど、青少年の大麻の蔓延が懸念されます。

インターネットやSNSにおいて、大麻の有害性を否定する情報が流れ、

大麻に対する警戒心の低下も懸念されます。罪悪感のないまま、大麻に手を出し、逮捕されたことにより家族や仕事を失う人も少なくありません。警察といたしましても、筑西市を担う青少年の健全育成を図るため、皆様との連携を更に深め、皆様の諸活動に協力させていただきますので、皆様からも、より一層の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

「コロナ禍の中の 子供たちを見守る」



県西県民センター
青少年指導員
谷中 勝

筑西市青少年相談員連絡協議会の皆様には、日頃より青少年の健全育成にご尽力をいただき、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

コロナ禍の中、学校では休校が長引き、学習が思うように進まなかつたり、運動会や修学旅行といった行事が、中止や変更になったりするなど、子供たちにとって、辛く困難な日々が続いています。

こういう時こそ、家庭・学校・地域が一体となって、子供たちを支え、励ましていかなければなりません。

青少年相談員の皆様には、どうか地域の宝である子供たちへの声かけや見守り活動など、なお一層の御協力をお願いいたします。



ブロック活動紹介

●地域の人たちの温かさを感じて

下館中ブロック 中島 周幾

今年度から、中学校の生徒指導主事として、活動に参加させていただいています。下館中ブロックでは、巡回車班、徒歩班に分かれて、月に2回の巡回指導を行っています。

青少年相談員としての活動を通して、強く感じたことは「地域の人たちの温かさ」です。巡回指導はもちろんのこと、月に1度行われる役員会では、子供たちの健全な育成のためにできることについて、活発な議論が交わされています。

今まで私は、学校の中から子供たちを見守ってきました。子供たちが安心して学校に通うことができるのは、たくさんの方々の支えがあつてのものだと改めて実感しています。



地域のために活躍できる子供たちを育てるために、これからも努力していきたいと思えます。

●未来を担う子供たちの安全

下館西中ブロック 軽部 剛志

西中ブロックでは、午後3時から午後5時までの時間帯で、巡回車を使つ

た青少年の見回りを行っております。

小学生の下校時の見守りや中学校でのあいさつ運動をはじめ、地域の公園で遊んでいる子供たちに声かけし、暗くなる前の帰宅を促したり、危険箇所等の見回りを行っております。川



島駅近くの児童公園には、児童だけでなく、中学生や帰宅のために電車を待つ高校生もおり、多くの子供たちと触れ合うことができます。



未来を担う子供たちの安全を地域ぐるみで守つていきたいと思えます。温かな見守りをよろしく願っています。

●地域で子どもを見守る活動を

下館南中ブロック 石島 和子

今年度は、コロナ禍により様々な行事や研修等の自粛を余儀なくされてしまいました。そうした中、月2回の巡回パトロールや、各小学校毎のあいさつ運動に取り組んでいます。

巡回パトロールでは、下校中の小



中学生への声かけで、子供たちからの元気な返事に力づけられます。

また、店舗への立ち寄りでは、仕事中でも気持ち良く対応して、子供たちの様子を話して下さいます。こうした地域全体での子供を見守る活動を続けていきたいと思えます。



●子供たちの笑顔があふれる毎日を

下館北中ブロック 飯塚 公成

北中ブロックでは、毎月2回の「街頭指導」、夏祭りの巡回や花火大会等の巡回パトロールを行っています。地域の子供たちの人数も減っているのか、遊ぶ姿を見ることがも少なくなっています。しかし、出会った際には、手を振ったり、元気にあいさつをしてくれたりして、温かな気持ちになります。

また、「北中ブロック情報交換会」を年2回実施しています。各小中学校の実態、成果、課題等を、学校と



地域、相談員で共有し、子供たちの笑顔を守っていきます。

さらには、市民の会と協力して、「朝のあいさつ運動」も行っています。どの学校も人数は少ないながらも、大きな声で、にこにこあいさつを交わしてくれます。

この子供たちの笑顔が、さらに輝き、ずっと続くように、見守り、巡回活動を通して、見守ってまいります。

●子供たちの安心・安全な環境づくりのネットワーク

関城中ブロック 小林 貫誠

関城中ブロックの活動を紹介します。月に2回、子ども達の下校時に合わせての巡回指導と夜間巡回

月に2回を基本とした、各学校や危険場所での安全確保を図るための「朝のあいさつ声かけ運動」

年に数回、安全を守る各団体と各学校とで行われる「学社連携指導連絡協議会」

関城中学校で行われる、市民の会・関城支部と地域安全を守る団体での「大人と子供の対話集会」

市民の会・関城支部との「あさのあいさつ声かけ運動」



指導

○緊急時等の対応方法として、連絡網やライン（LINE）の活用

これからもメンバー一丸となつて、事件・事故の未然防止と未来を担う子供たちの健全育成に努めてまいります。

街頭指導に参加して

明野中ブロック

斉藤 純子

コロナ禍の今年度は、例年毎月行っていた街頭指導が、4月から6月までは見送りとりました。そして、3カ月遅れのスタートで、7月から街頭指導が始まりました。

街頭指導では、地区内の商店を訪問して話をしたり、危険箇所等を見回つたりしています。出会った小・中学生や高校生に声をかけ、笑顔が返ってきたときは、心が温かくなります。地域の子供たちの健やかな成長を目にし、活動にやりがいを感じる瞬間です。

また、街頭指導は、集まった青少年相談員のみなさんと情報交換を行う貴重な場にもなっています。



見守りに感謝して

地域の子供たちの「安心・安全」を守るために、これからも地域の皆様と協力して活動を進めていきたいと考えています。



青少年相談員の活動を通して

協和中ブロック

滝田 昌弘

私は、今年度、約30年ぶりに、青年相談員として活動しています。以前の状況に比べて、青少年の様子には変化が見られ、反社会的な行動が主であった平成当初に比べ、非社会的な傾向が増えたのが令和の状況です。

新型コロナウイルスの影響で、臨時休校、分散登校を経て、通常登校が始まったのが6月8日。それに伴い、定期巡回指導が始まったのが7月からでした。

夏祭りや列車巡回指導が中止になり、主に月2回の巡回指導が活動の中心になりました。11月から朝のあいさつ運動が再開され、12月には青少年育成のための各商店等への訪問活動を行いました。成人式は中止となりましたが、卒業式には、例年通りの活動ができることを願っています。

地域の少年達との関わりを通して、健全育成の一助になればと活動している青年相談員にとつて、実り多き春を迎えることができるよう、子供たちと関わり、声かけをし、触れ合いを継続していきたいと思っています。



元気に、さわやかに！

子供たちを守る声

筑西の子供たちに乾杯！

筑西警察署 生活安全課長

塩澤 慶介

非行・いじめ・不登校・福祉被害・登下校の防犯など青少年に対する問題は様々ですが、これらの事案に向かい合つて感じたことを述べさせていただきます。

まず、子供たちは確かに守られているということです。登下校の見守りはもちろんのこと、悩みのある子供たちに対し周りの大人の方が真剣に取り組んでくれています。昼夜を問わずサポートしてくれている方もいらつしやいます。脱帽です。

次に、子供たちは無限の可能性を秘めているということです。非行に走ってしまった子供たちが立派な社会人となり頑張っている姿を見て感懐していますし、子供たちの笑顔を見て、未来へ、世界へ、羽ばたいていける力強さを感じています。

今後も引き続き皆様と連携のほど、よろしくお願いいたします。子供たちの明るい未来と、コロナの早期収束を願つて・・・、乾杯！

青少年を取り巻く環境

青少年センター所長

市塚 文夫

新型コロナウイルス感染症拡大により、社会経済活動に様々な制約を受け、青少年を取り巻く環境も、閉塞感や孤立感が生じるなど、その成長に多大な影響を及ぼしている状況です。

また、これまで同様、スマートフォン等の急速な普及は、青少年の新たな人間関係づくりの契機となる一方で、非行及び被害の両面において予断を許さない状況となっています。

このような中、青少年センターでは、いじめ・不登校・非行や心身・性・異性問題といった悩みに対する相談活動や街頭指導活動・環境の健全化活動等、青少年の健全育成と非行防止活動を推進しています。

今後、青少年センターを拠点に、より一層関係機関・団体等との連携を密にし、家庭・学校・地域社会が一体となつて、青少年の健全育成に努めてまいります。





『いばらき子ども見守りネットワーク』は、 「茨城県青少年相談員連絡協議会」の新しい愛称です！

令和2年12月に茨城県青少年相談員連絡協議会は、50周年を迎えました。
青少年相談員活動の更なる推進と青少年を取り巻く社会環境の変化に応じた取組への
気運醸成を図ります。

基本 市町村での相談活動

青少年の安全確保

- ・街頭や通学路、地域行事開催時の巡回活動



社会環境健全化活動

- ・街頭キャンペーン
- ・「茨城県青少年の健全育成等に関する条例」の普及啓発

関係機関団体との連携等

- ・学校、店舗、関係機関を訪問し情報交換を実施

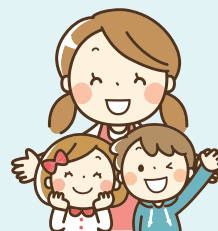


NEW 関心をお持ちの方には、次の活動もご案内します！

1 子育て支援のボランティア

市町村の福祉部門で実施している次のような子育て支援関連のボランティア情報をお伝えします。
関心をお持ちの方は、市町村の青少年相談員協議会事務局にご連絡ください。

- 放課後児童クラブ、放課後子ども教室や保育園等の補助員
 - 子ども食堂等の補助スタッフ
- など



2 里親制度を知ってもらおう

家庭は、子どもたちが生きる力や、将来自立するために必要な力を蓄えるための大切な場所。
様々な事情で自分の家族と暮らせない子どもたちにも、この「家庭養育」を保障するための制度が
里親制度です。この制度を広く周知したいので、お力をお貸しください。

- 里親制度の研修会参加
- 里親制度を知ってもらうための口コミ活動
- ご自身が里親として登録（これはあくまでも、ご自身が希望される場合です。）



3 インターネット安全利用の呼びかけ

地域で行われるイベントになどに出向いて、子どもたちやその保護者に、スマホやゲーム機等を安全に
使ってほしいという思いを伝える活動です。リーフレットやお話しいただく内容は、県連が準備します。



いつも、「青少年相談員だより」をお読みいただきありがとうございます。
ご意見・ご感想をお待ちしています。

広報委員 石島 和子（委員長） 古木 順三 杉山 宏美
大林 良男 塚田 美代子 齊藤 佐知子 下条 力男